



令和5年4月7日

式辞 より《前略》

ここ朝日中学校は、『未来で生きる人間力の育成』に力を入れています。「人間力」と一言で言っても、そこにはいろんな意味が含まれています。そこで、新入生の皆さんに最初にお願したい人間力。それは、誰かを笑顔にするために頑張れる姿、言い換えると「**共感力**」という言葉になります。「相手の想いを大切に」「他と協調する」など、すべて「人間力の向上」に繋がるものだと思います。

そして、すべての人が「明日も学校へ行くのが楽しみだなあ」と思える学校。「すべての人が笑顔で過ごせる朝日中学校」これが私の何よりの願いです。これは午前中の始業式でも、あなたたちの先輩にあたる2, 3年生だけでなく、すべての先生方にも伝えてあります。そのために、先ほどの「共感力」が大きなキーワードとなるはずです。

「共感力」を磨いていくために、今から4つのヒントを伝えます。

一つ目、人や様々な事に興味や関心を持ちましょう！

共感力が高い人は、周りの人についてもっと深く知りたい・関わりたいという思いから、強い興味や関心を持っている傾向が見られます。自分とは異なる考え方に対して、なぜそのような考え方に至るのか、もっと良くするためにはどのような行動をとるべきかなど、様々な思いを巡らせながら相手と会話をします。この結果、新しい知識を学べるうえ、周りの人との関係性もより良いものにできるのです。

二つ目、相手の会話内容をじっくり聴きましょう！

相手の会話の内容をしっかり受け止めていると分かるようにするには、表情・ジェスチャー・視線・声のトーンなど言葉以外の部分が重要です。言葉で伝えるのに加えて、言葉以外の伝え方で気持ちを表現できると、共感力が高いと相手に感じてもらえるでしょう。会話の配分は、相手7割・自分3割が理想とされています。相手の話を途中で遮らずに、言葉のキャッチボールを忘れないことも大切です。

三つ目、様々な体験をしましょう！

経験の中で抱いた思いと、相手が今抱いている思いを照らし合わせることで、相手についてより理解を深められます。相手の気持ちに一層寄り添えるために、共感力を高められるのです。

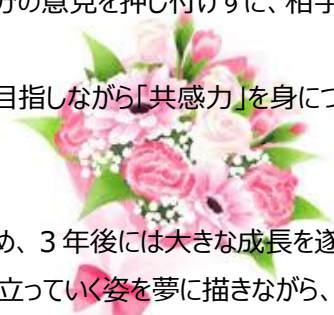
四つ目、自分と異なる意見でも一度受け止めましょう！

話し合いの中で、自分と異なる意見は少なからず出てくるものです。この時、相手の意見を頭ごなしに否定することは止めましょう。一つの物事をあらゆる方面からアプローチすると、人によって異なる意見が出てくるのは当然といえます。異なる意見が出た時は、そういう考え方もあるのかと捉え、新しい気づきを与えてくれたことに感謝しましょう。自分の意見を押し付けずに、相手の意見に寄り添い、お互いの意見を尊重し合う姿勢が大切です。

これら4つを意識しながらこれから始まる中学校生活で、「未来で生きる人間力」の向上を目指しながら「共感力」を身につけていってください。

《中略》

本日、入学した177名が、それぞれの夢や目標に向かって、一步一步、確実な歩みを進め、3年後には大きな成長を遂げ、保護者の皆様をはじめ地域の皆様、在校生、職員、すべての人に見守られ祝福されながら巣立っていく姿を夢に描きながら、今日から、ここ朝日中での生活がスタートです。



令和五年四月六日

朝日中学校長 丹羽 浩也

式辞では、こんなメッセージを伝えました。午前中に行われた始業式で2・3年生の皆さんにも同じような内容を伝えたいつもりです。学校教育ビジョン「未来で生きる『人間力』の育成」に近づくための、令和5年度



最初のキーワードはズバリ、「共感力」です。これから様々な場面で皆さんの「共感する姿」が見られるのを楽しみにしています。

「令和5年度より変わること」

この4月から多くの事が変わることになり、これまで以上に様々な変化に柔軟に対応していくための皆さんの「人間力」が試されることとなります。

① マスクの着用が個人の判断となります。

「つける」という判断も「つけない」という判断もどちらも尊重される関係性を作っていくてください。また、これまで続けていた給食時の「黙食」も解除とします。

② ヘルメットの着用が「努力義務化」されます。

この規定は学校の通学や部活動以外で自転車に乗るとき、さらには、大人にも適用されます。何より「自分や相手のいのちを守るもの」ということを前提に、この「努力義務」という言葉をそれぞれが考えてほしいと思います



③ 1学期の中間テストがなくなります。(※1年生の中間テストは実施します)

定期テストが1回なくなることで、「ラッキー」と感じる人がいるかもしれませんが、その分、当然期末テストの範囲は広がりますし、定期的なレポート提出、単元テスト、毎時の振り返り等々、日々の授業の重要性が高くなるということになり、それが評価にもつながっていくということになります。



④ 部活動が希望者加入制となります。

「学校の部活動で継続して頑張りたい！」 「放課後は地域内外の団体や教室で活動したい。」 「どちらにも所属せず、勉強や自分の好きな事をする時間、ゆっくり過ごす時間にしたい。」どれも素晴らしい選択だと思います。これも互いの決断を尊重していきましよう。



保護者の皆様



お子様の入学、そして進級おめでとうございます。お子様も、いよいよ中学生となり、思春期と呼ばれる多感な時期に入ります。人生の中で中学生の時期ほど、成長のスピードが激しい時期はありません。お仕事やご家庭の用事など本当にお忙しいでしょうが、いつでも学校に足を運んでいただき、お子様だけではなく、ともに学校に通う仲間の成長を、その目で見守っていただきたいと思います。子どもの成長はうれしいものですが、中学生の時期は、迷いや不安、心配事も多くなります。どうぞそのような時に、ひとりで抱え込まないようにお願いします。私たち教職員は、お子様の成長と一緒に関わることができることを、この上ない喜びと考えています。これから3年間「ともに子育て」の気持ちを共有しながら、どうぞよろしくお願いいたします。

